

● 「札幌市温暖化対策推進ビジョン」の策定について

札幌市では、世界に誇れる環境都市「環境首都・札幌」を目指し、率先して温暖化対策に取り組むため、「札幌市温暖化対策推進ビジョン」を策定しました。

このビジョンは、札幌市における新たな温室効果ガス排出量削減の中・長期目標の設定と、中期目標達成に向け、市民・事業者・札幌市が一体となって対策に取り組んでいくためのシナリオ（道筋）と10のアクション（行動）を示したものです。

なお、このビジョンに基づく実行計画は、国から示される予定の実施計画等を踏まえて策定する予定ですが、今後は中期目標の達成を目指し、より一層対策を推進していきます。

1 ビジョン策定の背景と目的について

札幌市では、「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を市政の重点課題と位置付け、「札幌市温暖化対策推進計画（2001年策定、2007年改定）」に基づき、これまでも地球温暖化対策を推進してきました。

一方、わが国では2009年9月に国連において温室効果ガス排出量を2020年に1990年比で25%削減する高い目標を国際公約とするとともに、新たな目標等を明記した地球温暖化対策基本法案の成立を目指しているところです。

同法案の成立は不透明ではありますが、「環境首都」を目指す札幌市として、できるだけ早く温暖化対策に取り組むことにより、豊かな環境を次世代に残すとともに、道都としての役割を果たすため、「札幌市温暖化対策推進ビジョン」を策定することとしました。

2 ビジョンの内容について

(1) 特徴

- ・ 温室効果ガス排出量の高い削減目標の設定
- ・ 2020年に目指す姿の明示
- ・ 中期目標達成に向けた市民・事業者・札幌市の役割の明確化

(2) 札幌市の温室効果ガス排出量と新たな中長期の削減目標

札幌市の温室効果ガス排出量は、人口や世帯数の増加等により、1990年の934万t-CO₂から直近の2007年には1208万t-CO₂と増加傾向（増加率1.29倍）にあり、厳しい状況です。

しかし、地球規模で早期に温室効果ガス的人為的排出量と自然吸収量のバランスを取るため、国内外の動向などを踏まえ、以下の目標を設定します。

札幌市の温室効果ガス排出量を、

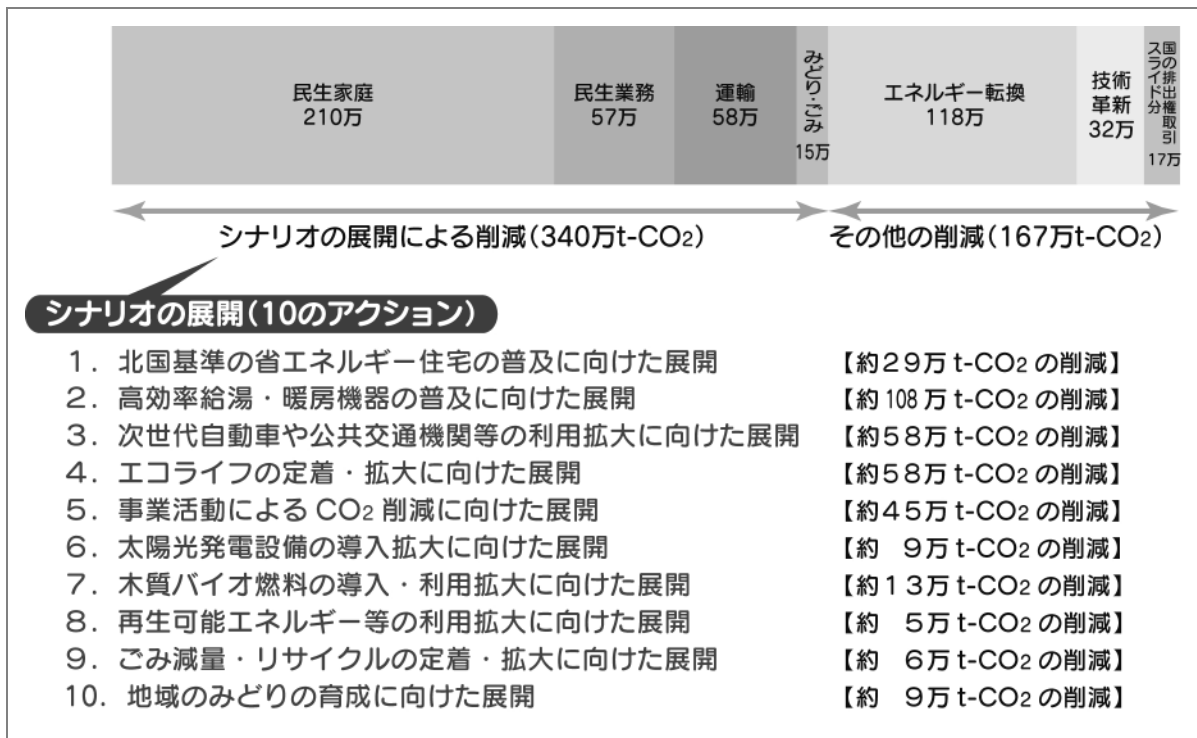
中期目標：1990年比で2020年に25%削減

長期目標：1990年比で2050年に80%削減

(3) 中期目標達成に向けた温室効果ガス削減シナリオと 10 のアクション

中期目標である 2020 年に 1990 年比で 25%削減 (701 万 t-CO₂) を達成するためには、2007 年から 507 万 t-CO₂ (2007 年比 42%) の温室効果ガス排出量の削減が必要であり、その目標達成に向けたシナリオと、市民・事業者・札幌市が取るべき行動である「10 のアクション」を示しています。

2007 年からの削減量 (507 万 t-CO₂) の内訳と 10 のアクション



※民生家庭：自動車を除く、家庭からの排出量 / 民生業務：自動車を除く、オフィスや店舗等からの排出量

3 今後の展開について

ビジョンに基づく実行計画（アクションプラン）については、今後国から示される予定の実施計画等を踏まえ、策定する予定ですが、今後は中期目標の達成を目指し、温暖化対策による CO₂ やエネルギーコスト削減等の「見える化」や、新エネ・省エネ機器導入に要する初期投資の負担を低減する補助制度の拡充等、より一層対策を推進するため、できることから取り組んでいきます。

4 計画の公表について

3月10日より、環境計画課（市本庁舎 12 階）や環境プラザ（北区北 8 西 3 札幌エルプラザ 2 階）、各区役所等で配布します。

また、ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/>) から閲覧できます。

問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課

小野、森 電話：211-2877